

第8回南部圏域の地域包括を考える会（なんケアの会）を開催しました

開催日時：平成 29 年 4 月 13 日（木）18:00～19:15

会場：南部市民サービスセンター なんぴあ

参加人数：35 名

メインテーマ：「パーキンソン病と上手に付き合うために」

サブテーマ：「在宅生活を支えるために、私達ができること
～パーキンソン病の事例から考える～」



平成 29 年 4 月 13 日（木）に、第 8 回となる「なんケアの会」を開催いたしました。多数のご参加を頂き誠にありがとうございました。

前回から引き続きメインテーマを「パーキンソン病と上手に付き合うために」とし、より具体的な事例を紹介させていただきました。

今回は一つの事例について、以下の担当する各職種 3 名から、それぞれの視点と関わりについてご講演いただきました。

- ① 当院副院長 石黒英明医師より病状と経過について
- ② 担当である主任介護支援専門員 虹の街秋田営業所 柴田倫様より生活の視点と介護状況・ケアプランについて
- ③ 通所先である御野場病院通所リハビリテーション 理学療法士 松永広枝氏より自宅での生活に照らし合わせたリハビリの介入と課題について

パーキンソン病の進行や経過について事例をもとに具体的なイメージを持つことで、それに合わせた適切な介入、環境整備やサービス調整を行っていくことの大切さを学びました。また、その為には各職種の情報共有とご本人がどのような暮らしを望んでいるか、その思いについて共通認識を持って取り組んでいくことが要となることを再認識しました。

その後、各グループで意見交換を行い、グループで出た質問や疑問点等を発表していただきました。「内服は一日何回くらい飲むのか？管理はどうしているのか？」「オン、オフ（病状）を把握するまでが大変」など活発な話し合いがなされました。

次回は、6 月 9 日（金）今回のシリーズ最後の一般講演を予定しております。今後とも尽力してまいりますので、ご指導ご支援いただきますようお願い致します。

会場の様子



参加者の皆様からの声

他職種の方と意見交換
でき、パーキンソン病につ
いて理解を深めることが
できました。
(介護事業所関係者)

パーキンソンの病態に理
解が深まりました。
(調剤薬局)

今後、それぞれの職種で難儀
した事例について、提示して意
見交換するなどしてみたい。
(医療機関関係者)